

秋田県障がい者スポーツ指導者協議会

広報

# チャレンジ！

平成 28 年 3 月 31 日発行  
秋田県障がい者スポーツ指導者協議会  
〒 010-0922  
秋田市旭北栄町 1 番 5 号  
(秋田県障害者スポーツ協会内)  
TEL 018-864-2750  
FAX 018-874-9467  
E-mail:shidousha@akita-sports.jp



※第 1 回実技研修会の様子



## ごあいさつ

秋田県障がい者スポーツ指導者協議会 会長 米山 隆

早春の候、会員並びに各関係者のみな様におかれましては、ますますご清祥のことと、お慶び申し上げます。

さて、去る 1 月 30 日（土）、秋田テルサを会場に「平成 27 年度東北ブロック障がい者スポーツ指導者研修会」を当協議会が主管となり開催致しました。寒中にも関わらず、会員及び会員以外の方や県外の会員の方達と一緒に会して研鑽する機会を持てたことは、非常に有意義であったと思います。お陰様で成功裡に終了することが出来ました。

近年、皆様もご承知の通り国内の障がい者スポーツを取り巻く環境は、急速に変化しております。2014 年度から、国の障がい者スポーツ行政が厚生労働省から文部科学省に移管され、2015 年 10 月にはスポーツを通じて「国民が生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営む」ことができる社会の実現を目指しスポーツ庁が設置されました。

また、誰もが心待ちしております、2020 年にオリンピック・パラリンピックが東京で開催されることが決まり、障がい者スポーツの注目度は年々高まっております。今、障がい者スポーツの普及・振興のための体制づくりが重要となっていくことと思います。

私たち指導員は今後も障がい者スポーツ振興のリーダーとして、指導現場で充分な知識や経験に基づいた指導をし、地域の障がい者スポーツの普及・振興を進める役割を担う指導員として活動できるように、今後も研修会や各種講習会等でスキルアップを図りながら努めて行きたいと思っております。新年度も秋田県障害者スポーツ協会及び各障がい者スポーツ団体、各関係者の皆様と連携を強化し事業の運営を実施致したいと思っておりますので、皆様のご指導とご協力を宜しくお願い申し上げます。

## 報告

# 平成 27 年度 第 1 回実技研修会 (サウンドテーブルテニス)

今年度、第1回目の実技研修会は、講師に障がい者スポーツコーチで当協議会の会員でもある、大友貞行氏とS T T クラブ員を招き、サウンドテーブルテニスについて競技と審判のルールについて、またクラブ員の協力により体験と支援についての研修でした。

講義では、視覚障害者を介助する場合の留意点として、初めて会った時のあいさつの仕方について「穏やかに分かりやすく」、また必ず自分の方から「私は○○です」と告げ、相手に安心感を与えてから次の行動に移ることが重要である事、また参加者は視覚障害者の誘導を体験、次に参加者同士がペアになり、一人がアイマスクを装着して視覚障害者役となり、もう一人が階段など危険な場面を誘導した。階段の上り下がりするときは「階段です。上がります、下がります。終わりました。」と声掛けをする等、視覚障害者の感覚も体験しました。

後半の実技ではサウンドテーブルテニス競技を体験しました。目の不自由な人は空間でボールを捕らえることが不十分なので音を利用した競技です。卓球のボールの中に小さな鉛が数個入っていてラケットで打つとコーンと音ができる。音をたよりに打ち合いをします。参加者も体験しましたが、空振りが多く選手との打ち合いでラリーが続かず焦りました。

主審、副審についても宣告用語を学びながら審判員を体験しました、手の動作と宣告用語に苦戦していました。

今回初めて体験した参加者は充実した研修会だったと感想を述べていました。サウンドテーブルテニスクラブは幅広く支援者を求めております。指導員の活動の場として、普及への第一歩として活躍して頂きたいと思いました。

## 障がい者スポーツ指導員になつて

初級障がい者スポーツ指導員 中川原 敬佑



私は父から初級障がい者スポーツ指導員というものがあることを教わり、スポーツに興味があつたため、資格を取ることを決意しました。私はこれまでの研修でサウンドテーブルテニス、フライングディスク、フロアカーリングを体験しました。サウンドテーブルテニスは卓球の球の中に鈴が入っていて、その音を頼りに球がある場所を判断して打ち返すという競技です。実際に目隠ししてプレイしてみると、音だけを頼りに打ち返すことは結構難しかったです。視覚から得られる情報は約 87% と言われていますがそのことを実際に体験できました。視覚障がい者に指導するときはそのことを意識して指導していきたいです。フライングディスクとフロアカーリングではあまり力のない障がい者の人も楽しめる競技であると感じました。私はまだ大学生の身であり、資格を取得してから数年しか経っておらずまだまだ未熟であるので、これからも研修会などに積極的に参加し、知識や技術を習得し初級障がい者指導員としての役割を果たしていくたいです。また、2020 年には東京オリンピックが開催されるので、少しでもオリンピックに貢献したいと感じました。

# 報告

## 平成 27 年度第 2 回実技研修会兼 東北ブロック障がい者スポーツ指導者研修会

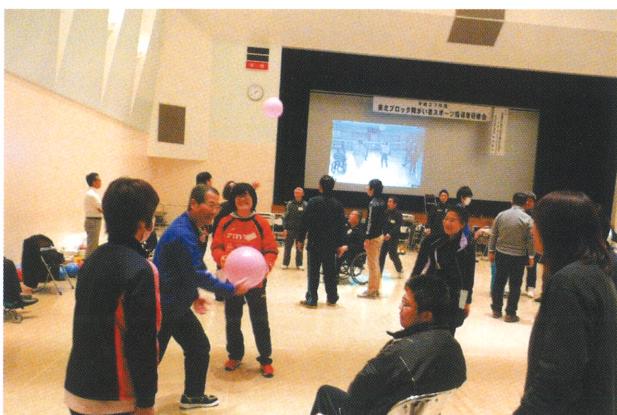
秋田県障がい者スポーツ指導者協議会 情報部長 高野 均

秋田県障がい者スポーツ指導者協議会では、年 2 回実技研修会を開催しておりますが、今年度の第 2 回実技研修会は東北ブロック障がい者スポーツ連絡協議会の指導者研修会を兼ね、1 月 30 日（土）秋田テルサを会場に開催しました。

研修目的は、東北地区で活動する障がい者スポーツ指導者が、研修を通して知識や技術などの情報を得ることにより、地域での活動や指導に伴う不安を解消し、今後の活動に対する意欲を高めるとともに、指導者の資質向上につながることを目的とし、山形県や宮城県及び県内会員のほか、障害者施設や介護事業所関係者及び脳梗塞による障がい者を含め、56 名の参加をいただき実施しました。

研修内容は、東北文化学園准教授佐藤敬広先生を講師にお願いし「高齢障がい者のための介護予防に活かすコーディネーショントレーニング」と題し、『介護予防』や『受病予後の活動』、『運動の実践』『地域に介護予防を「ひろげる」実践例』についての講義と実技では、運動で認知機能の低下を抑制する運動や卓球台を使い機能訓練からスポーツ要素を取り入れたトレーニングの指導方法について、明るく楽しい雰囲気の中、ご指導いただきました。

東北地方は、脳血管疾患による障がい者も多くおり、介護保険での要支援者への支援サービスやプログラム作成及び指導方法を引き出していくべき、障がい者スポーツ指導員として、高齢者や障がい者が運動やスポーツ活動に興味を持ち、参加したくなるようなプログラムづくりなど、今後の活動の場に活かしていく内容であり、大変有意義な研修がありました。



## 報告

# 東北ブロック若手障がい者 スポーツ指導者研修会

秋田県障がい者スポーツ指導者協議会研修部長 佐 藤 茂 仁

今年度の若手指導者研修会は、ドイツよりホルスト・ストローケンデル氏を講師に招き、車いすの基本的操作方法を含めた、車いすを使用する障害児者の運動導入システムづくりについての研修でした。同氏はドイツ車いすスポーツ協会指導員育成責任者、ドイツ車いすラグビー協会副会长等を務め、執筆した博士論文が現行の車いすバスケットボールのクラス分けの基礎となつた方で、日本語が話せないため、ふうせん遊び協会事務局長の橋本大介さんの通訳を介しての講義となつた。

初めに、障害者が運動を通じて参加することの意義、ドイツ車いすスポーツ連盟の指導者育成事業の特徴、運動導入を行う指導者に必要なスキルについての講義があり、その後、日常生活のための車いす操作方法について、実際に車いすを使用しての指導でした。

指導内容は、①使用する際の車椅子の調整、②漕ぎ出し、ブッシュ、ブレーキ、③回転と検査、④後方移動とブレーキング、⑤片手での前進、⑥キャスター上げとバランスのとり方、と段階的に進められ、自分で車いすを使用して操作方法を体験するとともに、車いす使用者にどのように指導するとスムーズに進められるか、また、安全のため注意しなければならない点等について細やかに実演を交えての指導であった。驚いたことは、普段から車いすを使用している参加者から、これまでこのような車いす操作方法を教えてもらったことが無いとの発言であった。また、⑥キャスター上げとバランスのとり方では、車いすの安定と危険を回避するために、マット上のキャスター上げではあったが、キャスター上げの恐怖を体験するとともに、指導される障害者と信頼関係を築くことが大切で、それが恐怖心を和らげ、指導をスムーズに進めるポイントであることを学んだ。

その後は、運動導入のきっかけとしてのゲームの活用方法と、その留意点、指導員の係わり方について実演と実技を交えながらの講義が行われました。

午前10時から午後3時までの5時間の研修でしたが、運動活動がきっかけで地域への参加機会を提供し、社会への継続的な参加を促すことで、孤立を防ぐための社会への橋渡しとしてスポーツが果たす重要性を改めて確認することができましたし、また、安全にスムーズな指導を行うためには、お互いに信頼関係を構築することも重要であることを学ぶことができました。とても充実した研修会がありました。



## 第15回全国障害者スポーツ大会 紀の国わかやま大会に参加して

潟上市 三 戸 学

10月24日(土)から10月26日(月)の3日間、第15回全国障害者スポーツ大会紀の国わかやま大会が和歌山市を主会場に開催され、私は一般卓球競技に出場しました。第7回全国障害者スポーツ大会秋田わか杉大会以来、8年ぶりの全国大会でした。

試合はリーグ戦で、1勝1敗で金メダルを獲得しました。24日(土)の試合は自分らしいプレーができずに負けてしまい、その日の夜のミーティングで「試合で、声を出している」と話し合いました。25日(日)の試合では、意識的に声を出していき、自分の気持ちを高めることにつながりました。3セット中2セットは追い上げる展開になりましたが、慌てることなく、強化練習会で取り組んできたことを信じ、1点ずつ点数を積み重ねていきました。3セット目の最後のボールが対戦相手のオーバーミスになったとき「ヤッター」と叫び、力強いガッツポーズをしました。「この気持ちを味わうために、この場に来たのだ…」と思うと、達成感が溢れました。

秋田県選手団は金メダル5個、銀メダル16個、銅メダル10個のメダル獲得総数は31個でした。秋田県選手団の好成績に貢献できたことに、「スポーツ立県あきた」に寄与できたことに、心から誇りに思っています。



今、金メダルの重みをかみしめています。この成績に満足することなく、さらに卓球の技術を高め、次の目標に向けて練習に取り組んでいきたいと考えています。第15回全国障害者スポーツ大会紀の国わかやま大会の経験を通して、何事も諦めずに努力する大切さを学びました。このことを教師としての成長につなげていき、生徒と一緒に、常に目標を掲げて生活していく糧にしていきたいと思います。

全国障害者スポーツ大会紀の国わかやま大会に向けて、たくさんの応援に心から感謝しています。本当に、ありがとうございました。

## 東北ブロック障がい者スポーツ指導者研修会に参加して

(一社) 秋田県障害者スポーツ協会推進員 佐々木 麻子

今後の障がい者スポーツ指導者としての活躍の場を広げるべく、研修会に参加することにいたしました。

佐藤敬広先生の講義では、後半に各グループで高齢障がい者に適した運動プログラムを考え、その成果を発表するという時間がありました。グループのメンバーはスポーツ指導員のほか障がい者、理学療法士、スポーツ推進委員等で構成され、楽しく安全に行うプログラムを作成するために1人1人の知識や考え、意見を交換し合いました。他のグループのプログラムも様々な視点や目的に沿って考えられており、大変興味深いものばかりでした。

私が障がい者スポーツに携わるようになって2年が経ちます。今回の研修会を含め、これまでにも障がいや障がい者スポーツについて学んできましたが、まだまだ分からぬことがあります。今回のような研修会に参加する度に新たなことを学び、たくさんの魅力に気付かされます。自分自身の成長のため、現状に満足せず勉強して、そして何よりも秋田県の障がい者スポーツの発展のために、その一躍となれるよう頑張って行きたいと思います。

佐藤先生、本務多忙の中、秋田まで足を運んでいただきありがとうございました。また協議会の皆さん、当日までの準備から運営まで大変お疲れ様でした。

## スポーツクラブの紹介

名 称：秋田エンジェルス  
内 容：軟式野球チーム

(障がい者向け特別ルール有り)  
練習場所：勤労身体障害者スポーツセンター  
練習日：毎月2回（第2・4日曜日）  
連絡先：会長 進藤 雄一



Momoandhimawari47-154@nifty.com

コメント：野球好きなメンバーが集まって、月2回程度練習しています。  
野球が好きな人、生涯スポーツに興味のある人、是非遊びに来て下さい。  
ただ今、部員及び指導員（ボランティア）さん大募集しています。

### よくある質問

- Q：日本障がい者スポーツ協会の会員になっているのに、秋田県障がい者スポーツ指導者協議会から研修会や講習会の知らせが無いのはどうしてですか。
- A：秋田県障がい者スポーツ指導者協議会に入会（年会費1,000円）し会員となっている方には総会のご案内、各種講習会や研修会、活動の情報を提供させていただいてあります。  
したがって、当協議会に入会していない方には情報提供しておりませんので、是非入会して活動してください。
- Q：秋田県障がい者スポーツ指導者協議会の会費を忘れて納入していなかつたのですが、どうなりますか。
- A：2年以上滞納した場合は、会則7条により会員としての資格が喪失され、当協議会からの情報提供や活動が無くなりますので、忘れないで納入お願い致します。

## 平成27年度 年会費納入についてのお願い

年会費（1,000円）につきましては、会員の皆様のご協力を頂きありがとうございます。  
期限は過ぎてありますが、未納のかたは速やかに納入して頂きますよう、よろしくお願い申し上げます。

\*振り込み用紙紛失の場合は郵便局に備え付けの用紙でも納入することができます。

### 納入先

秋田中央郵便局 口座番号 02210-7-94390  
秋田県障害者スポーツ指導者協議会

### 編集後記

今回の発刊に際し、御寄稿いただきました皆様に、心から感謝申し上げます。  
1月に開催されました東北ブロック障がい者スポーツ指導者研修会の開催後、参加された方達から御好評の感想や御葉書を頂きました。  
新年度も研修会や講習会を計画しておりますので、是非ご参加下さい。  
今後もご支援ご協力をお願い致します。 事務局 佐藤涼子